

富山市

認知症

ガイドブック

vol.2

このガイドブックは、
認知症が疑われるときから
病気の進行にあわせて
いつ、どこで、どのようなサービス・支援
があるのかわかりやすく紹介しています。
認知症になっても安心して暮らせるまちを目指して、
認知症の人やその家族のために作成しました。
一人で抱え込まずに、専門機関に相談したり、
介護サービスを上手に活用したりすることで、
認知症の人も、介護する家族も、
心や体の負担が軽くなります。
ぜひ、このガイドブックをご活用ください。



富山市

富山市認知症ガイドブック 目次

1 認知症の基礎知識 1

- (1) 認知症ってどんな病気？
- (2) 代表的な認知症の種類と症状の特徴
- (3) 認知症の症状～中核症状と行動・心理症状～

2 認知症の気づきについて 4

- (1) 確認してみませんか？ 認知症チェックリスト
- (2) 認知症には早期受診・診断が大切です
- (3) 受診のポイント
- (4) 早期受診のメリット
- (5) 富山市内の認知症対応をしている専門医療機関の一覧

3 認知症の予防 8

- (1) 認知症予防についての考え方
- (2) 日頃からの取り組み

4 認知症の人への接し方 10

- (1) まずは本人の気持ちを理解しよう
- (2) 認知症の人によくみられる行動と接し方のポイント
- (3) 認知症の人と周囲の人は合わせ鏡
- (4) 介護をしている家族の気持ち
- (5) 介護をしている家族が元気を保つポイント

5 若年性認知症の人への支援 13

- (1) 若年性認知症とは
- (2) 就労に関すること
- (3) 経済的問題に関すること
- (4) 介護・福祉・医療に関すること

6 認知症の進行と主な症状・対応 15



7 認知症の進行に合わせて受けられるサービス・支援の一覧表・・・17 (認知症ケアパス)

8 受けられるサービス・支援の説明・・・・・・・・・・19

- (1) 介護保険のサービス
- (2) 医療保険のサービス
- (3) 富山市の事業
- (4) その他の公的機関の事業
- (5) その他のサービス・支援

9 富山市の取り組み・・・・・・・・・・26

- (1) 認知症についての啓発活動の推進
- (2) 地域での見守り体制の推進
- (3) 認知症のケアの質的向上

10 認知症の総合相談窓口・・・・・・・・・・27

- (1) 地域包括支援センター
- (2) 行政
- (3) 上記以外の公的機関
- (4) 認知症の人と家族の会

富山市認知症ガイドブックは、以下のURLでも確認することができます。

<http://www.city.toyama.toyama.jp/fukushihokenbu/chojufukushika/ninntisyougaidobukku.html>





1. 認知症の基礎知識

1

(1) 認知症ってどんな病気？

認知症高齢者は2012(平成24)年で全国に462万人、65歳以上の高齢者の約7人に1人と推計され、2025(令和7)年には730万人で約5人に1人となる見込みです。これを富山市の人口に当てはめると、2025年には25,737人になると予測されます。今や誰もがかかる可能性のある身近な病気です。

認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったりすることで、脳の指令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障害が起こり、生活する上で支障がおおよそ6ヶ月以上継続している状態を指します。

中でも物の忘れは認知症の中心となる症状で、早い段階で現れ、進行していきます。

加齢によるもの忘れと認知症のもの忘れの違いを比べてみましょう。



加齢によるもの忘れと認知症のもの忘れの違いの具体例

加齢によるもの忘れ	認知症のもの忘れ
経験したことが部分的に思い出せない	経験したことを全部忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人が誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したこと自体を忘れている
物覚えがわるくなったように感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある

出典：「認知症サポーター養成講座標準教材」

(2) 代表的な認知症の種類と症状の特徴

アルツハイマー型認知症

- ・ 初期から最も目立つ症状は「もの忘れ」特に新しい事が覚えられない
- ・ 徐々にもの忘れ以外の能力も低下し、家事や仕事が困難になる
- ・ 徐々に道に迷いやすくなる
- ・ 進行すると、排泄や着替えも困難になる
- ・ 「被害妄想(物盗られ妄想)」「怒りっぽい」「意欲低下」「物事に関心がなくなる」などの情緒変化も起きる

レビー小体型認知症

- ・ しっかりしているときもあれば、日や時間帯によっては、ボーッとしていたり、激しく混乱したりするなど、状態が大きく変動する
- ・ 存在しないものが見えたり(幻視)、壁のシミや物が人に見えたり(錯視)、家族を他人と間違えたりする(誤認妄想)
- ・ 歩行が小刻みになったり、動作が鈍くなったりすることもある(パーキンソン症状)
- ・ 夜間に大きな寝言や激しい体動がある
- ・ 立ちくらみや便秘などの自律神経症状や、転倒を繰り返すといったことが目立つ

脳血管性認知症

- ・ 脳梗塞(こうそく)や脳出血などの脳血管障害によって起きる
- ・ 初期にはもの忘れの症状は軽いが、意欲低下が目立ち、歩行障害や失禁をともないやすく、呂律(ろれつ)や嚥下(飲み込み)が悪くなることもある
- ・ ゆっくり悪化する例もあるが、急に発症し、階段状に悪化していく例も多い

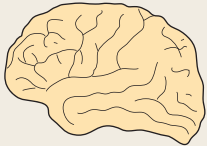
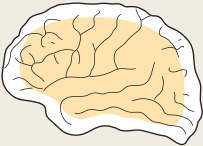
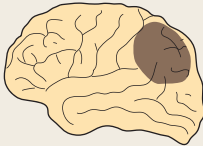
前頭側頭型認知症

- ・ 同じ言葉や同じ行動を繰り返したり、同じコースを何度も歩いたりする(常同行動)
- ・ 万引きなど反社会的な行為をしてしまう
- ・ 道に迷うことは少なく、初期にはもの忘れも目立たない

認知症の症状を示す疾患で治療可能な疾患

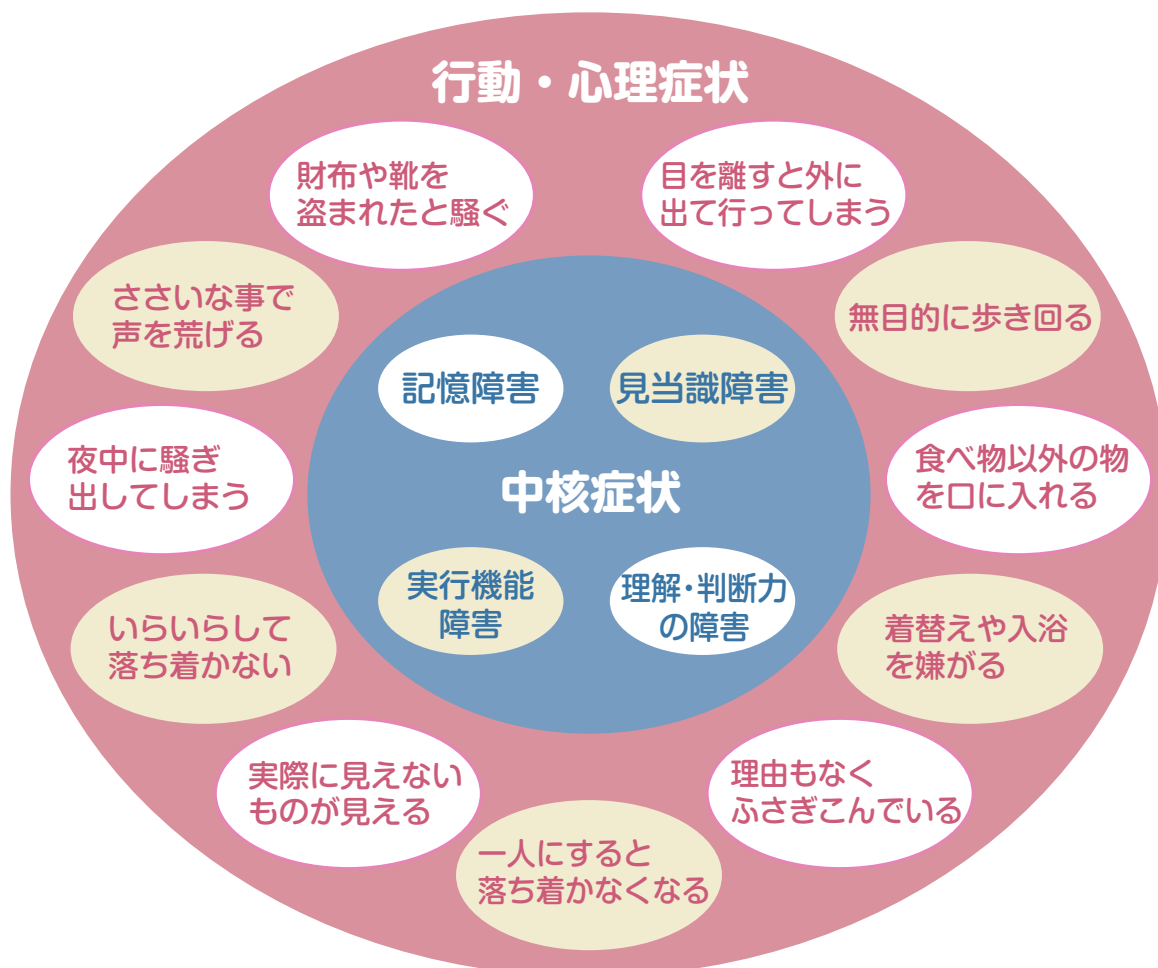
正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、甲状腺疾患などが原因の場合、専門医療機関による治療により改善する場合があります。

<認知症と脳の変化>

		
健康な脳	脳の細胞が少しずつびまん性に死んで脳が萎縮する (アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などの変性疾患)	血管が詰まって一部の細胞が死ぬ (脳血管性認知症)

出典：「認知症サポーター養成講座標準教材」

(3) 認知症の症状～中核症状と行動・心理症状～



●**中核症状（認知機能障害）**とは、脳の障害によって起こり、程度の差はありますが全ての認知症の人にみられる症状です。

記憶障害……………新しいことを覚えられず、覚えていたことも思い出せなくなる。

見当識障害……………日時や場所がわからなくなる。

実行機能障害……………計画を立てたり手順を考えたりすることができなくなる。

理解判断力の障害…筋道を立てて判断することができなくなる。考えるスピードが遅くなる。

●**行動・心理症状（BPSD）**は、脳の障害に加え、元来の性格、環境、体調などの様々な要因が重なり、人によって出たり出なかったりする症状です。

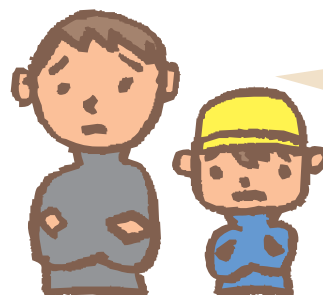
2. 認知症の気づきについて



(1) 確認してみませんか？ 認知症チェックリスト

質問項目		チェック欄		
		ほとんど ない	時々ある	頻繁に ある
1	同じ話を無意識に繰り返す			
2	知っている人の名前が思い出せない			
3	物を片付けた場所を忘れる			
4	漢字を忘れる			
5	今しようとしていることを忘れる			
6	器具の説明書を読むのを面倒がる			
7	理由も無いのに気がふさぐ			
8	身だしなみに無関心である			
9	外出をおっくうがる			
10	物（財布など）が見当たらないことを他人のせいにする			
【合計点評価の方法】 0～8点＝正常、9～13点＝要注意 14～20点＝病的（専門医の受診を）		個 × 0 点	個 × 1 点	個 × 2 点
		合計 点		

（簡単な予測診断法 出典：大友式認知症予測テスト 認知症予防財団）



最近なんとなく
もの忘れが多いな
・・・？

合計点が 14 点以上だった場合、認知症の可能性もあります。認知症は本人自身
がその障害を自覚することが難しい病気です。そのため、初期症状の現れは、家族
など身近な人たちが異変に気づくことが多いようです。周囲の人々は小さなサイ
ンを見逃さず、「いつもと違うな」と思うようなことが目立ってきたときは、早め
にかかりつけ医や地域包括支援センターへ相談しましょう。

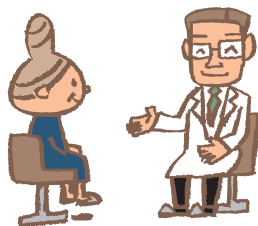
(2) 認知症には早期受診・診断が大切です

もしかして認知症？
と思ったら・・・

まずはかかりつけ医に相談しましょう！必要があれば認知症対応をしている専門医療機関を紹介してもらうことができます。

本人が病気の可能性があることを認めたがらない場合は、「わたしもそう思うよ」と一旦気持ちを受け止めた上で、「一度ちゃんと調べてなんでもないことを証明にしようよ」と声をかけるのもひとつです。かかりつけ医から認知症対応をしている専門医療機関への受診をすすめてもらうと、すんなり受診できる場合もあります。

かかりつけ医



相談・受診

認知症対応をしている専門医療機関



- ・ 認知症の確定診断
- ・ 認知症の治療方針について
かかりつけ医へ助言

連携

(3) 受診のポイント

認知症の人は、自身の症状を伝えることが難しいです。医師に状況を適切に伝えるために、受診には家族が付き添うようにして、受診前に状況をメモしておくといいでしょう。

本人が同席する場合はプライドに配慮し、言いづらい内容は紙に書いて診察前に渡すなどしましょう。

●メモの内容

- ・ いつ頃からどのような症状が出始めたか、誰がどんなきっかけで気付いたか
- ・ 本人はどう受け止めているか、本人の言動や生活の中で支障となっているのはどんなことか
- ・ 家族として対応の仕方がわからないこと、困っていることはどんなことか
- ・ これまで治療してきた病気や服薬状況 など

かかりつけ医がなく、受診が難しい場合

「認知症かもしれないから病院へ行こう」と言われると、誰でも抵抗を感じるものです。「認知症の予防のために一度みてもらおう」「脳健康チェックに行こう」など、表現を変えると抵抗感を和らげることができるかもしれません。

また、人を変えて誘ってみるとうまくいく場合があります。別居の親族や本人が懇意にしている人など、本人にとって納得が得られやすい人から誘ってもらいましょう。

家族から「私の受診に付き添って」と病院へ誘い、本人を診てもらうことも方法です。その場合は専門医療機関と事前に十分に打ち合わせておく必要があります。

家族の支援で受診が困難な場合は、地域包括支援センターや認知症初期集中支援チームへ相談することもできます。(P.22 参照)

(4) 早期受診のメリット

早期の受診・診断、早期治療はその後の認知症の人の生活にとってとても重要なことになります。専門の医療機関の受診が不可欠です。

早期受診のメリット①

治る病気や一時的な症状の場合もあります。

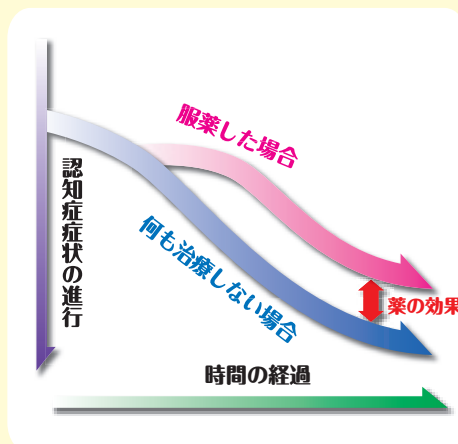
認知症のような症状が出て、治る病気や一時的な症状の場合もあります。
(正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫などは外科的な治療で改善します。)
しかし、その状態を長期間放置すると、回復が不可能になってしまいます。

早期受診のメリット②

早期ほど薬で進行を遅らせることができます。薬以外にも自分で予防できる種類の認知症もあります。

アルツハイマー型認知症は、根本的な治療はみつかっていませんが、初期ほど薬で進行を遅らせる効果があります。

脳血管性認知症は、生活習慣病の予防や、高血圧や糖尿病などの持病を病院に受診して、しっかりと治療することで、脳血管性認知症の原因となる脳梗塞や脳出血などの再発防止となり、進行を止める可能性が高くなります。



早期受診のメリット③

病気が理解できる時点で受診し少しずつ理解を深めることでその後の生活上のトラブルを軽減できます。

生活上の困りごとが少ないうちに、将来の後見人を決めておくなど準備をしておけば、認知症であっても本人の願う生き方を全うすることができます。日頃から自分の生き方、考え方を家族や後見人、医療や介護などの関係者に理解してもらうよう心がけることが重要です。

(5) 富山市内の認知症対応をしている専門医療機関の一覧

医療機関名（精神科）	所在地	電話番号	画像による 鑑別診断の実施	精神科 病床	認知症 治療病床
富山大学附属病院 神経精神科	杉谷2630	434-2281	● CT・MRI・SPECT	●	
富山県立中央病院 精神科	西長江2-2-78	424-1531	● CT・MRI・SPECT	●	
富山市民病院 精神科	今泉北部町2-1	422-1112	● CT・MRI・SPECT	●	
富山赤十字病院 高令心療科	牛島本町2-1-58	433-2222	● CT・MRI・SPECT		
谷野呉山病院	北代5200	436-5800	● CT	●	
呉陽病院	野口南部126	436-6363		●	
常願寺病院	水橋肘崎438	478-1191	● CT	●	●
南富山中川病院	大町146	425-1780		●	●
佐々木病院	大町1	425-2111		●	
藤の木病院	開261	424-0101	● CT・MRI	●	●
有沢橋病院	婦中町羽根新5	425-0631		●	
三輪病院	小中291	428-1234	● CT・MRI		●
温泉リハビリテーションいま泉病院	今泉220	425-1166		●	●
富山中央診療所	掛尾町500	495-2164			
福田医院	室町通り1-1-26	425-4978			
みさきクリニック	梅沢町2-7-13	422-2665			
さくらまちハートケアクリニック	桜町1-3-4 東洋12ビル 2F	443-1840			
アイ・クリニック	太郎丸西町2-8-6	421-0238			
やまだホームケアクリニック	高屋敷65-1	493-6002			
星井町こころのクリニック	星井町2-7-39 泉ビル2F	481-6607			
西能みなみ病院	秋ヶ島145番地1	428-2373	● MRI		
さくら内科・脳神経クリニック	下新本町3番6号	432-0039	● MRI		
かみやま脳神経クリニック	上袋358	422-7733	● MRI		
高重記念クリニック	元町2-3-20	421-4363	● CT		
認知症疾患医療センター （谷野呉山病院）	北代5200	436-2324	● CT		

（令和3年1月22日 現在）

※ 1 入院については、本人の状態や病院の空床状況により医療機関での判断となります。

※ 2 その他心療内科・神経内科・脳神経外科等でも認知症対応をしている医療機関があります。

→ 「とやま医療情報ガイド」 URL <http://www.qq.pref.toyama.jp/qq16/qqport/kenmintop/>

3. 認知症の予防

(1) 認知症の予防についての考え方

認知症の発症リスクを少なくする

- 脳血管性認知症の予防…高血圧症、高脂血症、肥満などの対策が有効です。
- アルツハイマー型認知症の予防…運動・食事をはじめとする生活習慣病対策には、発症を遅らせる効果がみとめられています。
- 加齢による脳の病気の加速要因を防ぐ…脳や身体を使わない「廃用」は認知症の発症や進行を加速させます。



(2) 日頃からの取組み

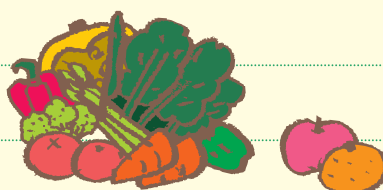
①水・食事・便・運動で日頃の体調を整える

認知症の予防には、身体の機能を健康に保つことが大切です。それには、1日1,500ml以上の水分と1,500kcalくらいの栄養摂取、規則的な排便、適度な運動を保つよう心がけましょう。

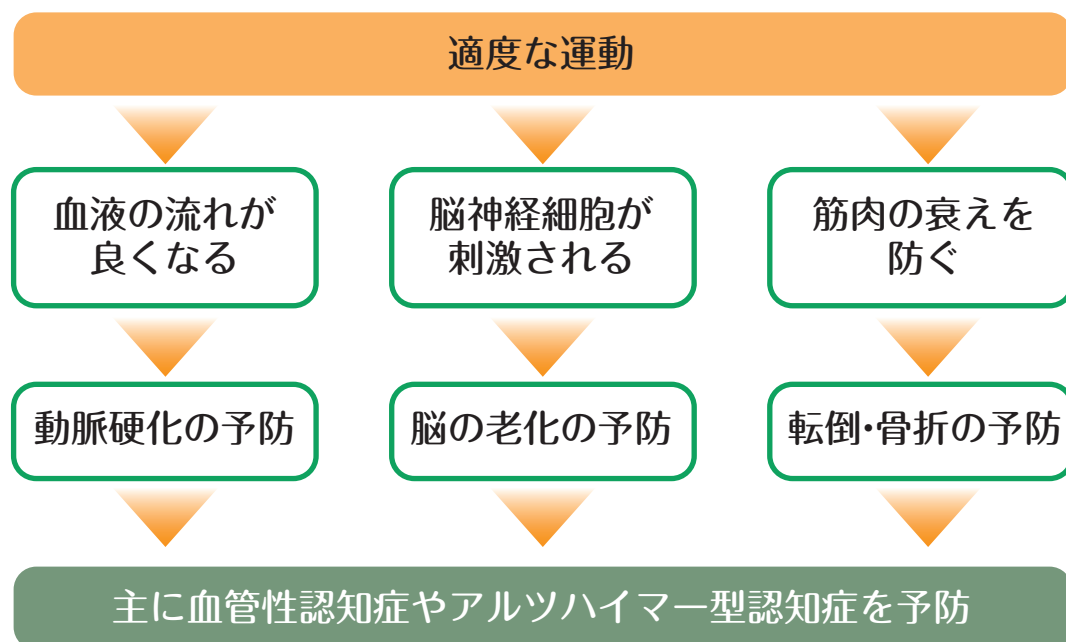


<認知症を予防する食習慣のポイント>

- 魚の摂取を心がける
- 緑黄色野菜や果物の摂取を心がける
- 食塩をとり過ぎない
- 甘いものは控える
- よくかんで食べる



<認知症の予防と運動>



②脳の活性化を図る

- 快刺激で笑顔に**…心地よい刺激や笑うことにより、意欲をもたらす脳内物質(ドーパミン)がたくさん放出されます。
- コミュニケーションで安心**…社会との接触が失われると、認知機能の低下を促進させます。友人や家族などと楽しく過ごすことが大切です。
- 役割・日課を持つ**…人の役に立つことを日課に取り入れることが、生活を充実させ、認知機能を高めます。
- ほめる、ほめられる**…ほめてもほめられてもドーパミンがたくさん放出されます。脳を活性化させる学習や活動をするときは、ほめてやる気が起きるようにしましょう。

4. 認知症の人への接し方

(1) まずは本人の気持ちを理解しよう

認知症のごく初期、「言われても思い出せないもの忘れ」が重くなると、本人は戸惑い、不安な気持ちになります。当たり前にできていたことができなくなる苛立ちや簡単なことをミスする情けなさ、自分がどうなっているのか分からない不安、そんな思いを抱えています。多くの方が周囲に気づかれぬよう隠そうとするため、もの忘れなどを指摘されると怒りっぽくなる場合があります。周囲の人から見れば、人柄が変わり、自分勝手に見えるかもしれませんが、悲しみや不安をひとりで抱えているのです。

(2) 認知症の人によくみられる行動と接し方のポイント

認知症の人は、「今までとちがう」、「世の中とかみ合わない」という不安や焦りを抱えながら、なんとか自分の中で折り合いをつけようと、一見周囲の人には理解しがたい行動をとることがあります。

- 身近な人に対して症状が強く出る…強い信頼感の裏返し
- 自分に不利なことはなかなか認めない…自分を守るための当たりの反応
- まだらに症状が出る…正常に保たれている部分と認知症が混在する
- 感情は非常に敏感である…事実関係は忘れても感情は残る
- いつまでもこだわる場合がある…うまく言葉にできない思いの表れ

失敗や間違いを正しても、またすぐに忘れてしまうので、あまり意味はありません。かえって本人の自尊心を傷つけ、不安をあおってしまいます。認知症になっても自尊心やその人らしさは失われません。そのことを理解して、認知症の人のペースに合わせて対応することが大切です。

認知症の人への接し方のポイント

- 間違ったことを言っても否定せず、**本人の思いをじっくり聴く**。
- **親しみをこめて**話しかける。
- 本人の生命や生活に影響しない場合は、出来るだけ**本人の思いを尊重**する。
- 大丈夫だよと声をかけ、**安心してもらう**。
- 家に閉じこもりきりにさせず、**人との交流を持てる**ようにする。
- **自分が役に立っている**と思える無理の無い役割を持ってもらう。



4

認知症の人への接し方

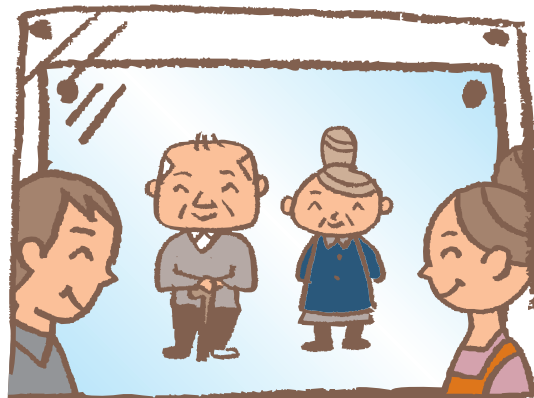
(3) 認知症の人と周囲の人は合わせ鏡

認知症になると失敗や間違いが増えますが、周囲の人が本人を叱ったり、イライラした態度で接すると、本人は不安になったり、怒ったりして余計に失敗してしまいます。

反対に、できないことを認め、さり気なく手助けしたり、できることをほめたりするように接すると、本人も笑顔になり、安心して過ごすことができます。

もし徘徊が頻繁になる、暴力を振るう、物盗られ妄想が激しくなる、といった症状が現れたら、それは本人の助けて欲しい、というメッセージです。

周囲の人は、本人の自尊心を傷つけるような接し方をしていなかったか、時に振り返ってみることも大切です。



(4) 介護をしている家族の気持ち

認知症の人の介護をしている家族の気持ちは、次のような4つのステップを行ったり来たりしながら、徐々に受け入れていくと言われています。

落ち込んだり、イライラしたりすることは自然なことです。このステップを理解していると、少し気持ちに余裕が出てくるかもしれません。

ステップ1

とまどい・否定

もともとの本人からは考えられないような行動や言葉にとまどい、こんなはずはないと否定しようとする。

ステップ2

混乱・怒り・拒絶

認知症の理解の不十分さから、些細なことで怒ったり叱ってしまう。拒絶感・絶望感に陥りやすい時期。

ステップ3

割り切り

本人を叱ったり、イライラしても解決しないと思いはじめ、割り切るようになる時期。

ステップ4

受容

認知症の本人のあるがままを受け入れられるようになる。



介護をしている家族は一生懸命に介護するあまりつい自分の健康がおろそかになりがちです。「介護うつ」と呼ばれるような抑うつ状態（こころに元気がない状態）になってしまうこともあります。憂うつ感や無気力、不安感を感じたり、倦怠感や眠れない、食欲がないなどの症状が2週間以上続くような不調を感じたら、家族自身の介護の疲れなどもかかりつけ医に相談するようにしましょう。

(5) 介護をしている家族が元気を保つポイント

責任感の強い人ほど「自分が面倒をみなければ」と抱え込む傾向があります。認知症は家族だけでケアするのが難しい病気です。介護することの喜びや満足感を感じながら家族が元気に介護を続けるための6つのポイントを紹介します。

- ①身近に相談できる人を持ちましょう
- ②ケアマネジャーやかかりつけ医と何でも話し合える関係を築きましょう
- ③緊急の時に介護を代わってもらえる人をみつけておきましょう
- ④自分にあったストレス解消方法をみつけましょう
- ⑤自分の健康を大切にしましょう
- ⑥がんばりすぎないようにしましょう

「公益社団法人 認知症の人と家族の会」では、認知症のさまざまな情報や活動内容をホームページで紹介しています。富山県支部もあります。

URL <http://www.alzheimer.or.jp/kazokutoyama.jimdo.com> (公益社団法人 認知症の人と家族の会)
(認知症の人と家族の会 富山県支部)



5. 若年性認知症の人への支援

(1) 若年性認知症とは

一般的に認知症は高齢者に多い病気ですが若い人もかかることがあり、65歳未満で発症し、かつ現在も65歳未満の場合を「若年性認知症」といいます。

若年性認知症の人は全国で 3.57 万人と推計され、18 歳～64 歳人口 10 万人に対して 50.9 人いる推計です。

(平成 21 年発表の前回調査は、10 万人に対して 47.6 人)

【若年性認知症特有の課題】

- ①本人や家族が働き盛りであること
- ②高齢者の認知症に比べ奇異な目で見られそのことが社会参加を阻害していること
- ③介護者が配偶者であることが多く、核家族で介護を代わってもらえる人がみつけないこと
- ④就学期の子どもがいることが多く、教育・就職・結婚など養育課題と介護との両面に対応が必要なこと
- ⑤現役途中での離職による地域生活は、地域へのなじみや人間関係づくりが難しいこと
- ⑥福祉サービスが高齢者向けにつくられおり若年では利用しにくいこと

このような課題があるため、生活費等の経済的問題、居場所づくりなど、様々な分野にわたる支援が必要となります。

〔相談窓口：富山県若年性認知症相談・支援センター P28参照〕

富山県若年性認知症相談・支援センターでは、個別相談のほか、ご本人・家族の交流会や病気のことや介護について、経験者と悩みや思いを共有しながらお互いに支え合うことを目的に出会いの機会を提供するピアサポートなども行っています。

(2) 就労に関すること

就職や復職のための準備の方法、会社で仕事をうまく続けていくための方法、利用可能な制度や相談機関などについて助言・情報提供などの支援があります。

相談窓口：ハローワーク（公共職業安定所）
富山障害者職業センター

TEL.431-8609
TEL.413-5515



(3) 経済的問題に関すること

傷病手当金……職場の医療保険に加入している方が病気や怪我で3日間以上連続して仕事を休んだ場合に休職4日目から最長1年6ヶ月支給されます。

〔申請手続き：職場の人事部などで確認〕

障害年金……傷病により障害状態になり、生活や仕事などが制限されるようになったとき、障害の程度と一定の要件によって障害年金を受給できます。障害年金は①国民年金の障害基礎年金②厚生年金の障害厚生年金③共済年金の障害共済年金の3種類あります。ただし障害の原因となった傷病の初診日から原則1年6ヶ月経過しないと申請できません。

相談窓口：①富山市保険年金課	TEL.443-2067
②富山年金事務所（お客様相談室）	TEL.441-3926
③共済組合	ご加入の共済組合で確認

※初診日に加入していた年金制度により手続き窓口が異なります。共済年金の厚生年金への一元化に伴い平成27年10月1日以降に初診日のある人は障害厚生年金となります。

(4) 介護・福祉・医療に関すること

介護保険制度……特定疾病である「初老期における認知症」に該当した場合は、65歳未満（40～64歳）でも介護保険サービスの利用ができます。

〔相談窓口：介護保険課、地域包括支援センター P 27、28参照〕

障害福祉サービス……原則として介護保険サービスの利用が優先されますが、介護保険サービスにはない障害福祉サービス（行動援護、自立訓練〈生活訓練〉、就労移行支援、就労継続支援等）を日中の活動の場所として利用することができます。

40歳未満の方であっても、一定の条件（精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方など）を満たしていれば、障害福祉サービスとしてヘルパー（居宅介護）などを利用できる場合があるので、ご相談ください。

〔相談窓口：障害福祉課 TEL.443-2207〕

自立支援医療（精神通院医療）……認知症を含む精神疾患により精神科医療機関を受診している場合、医療費の自己負担が1割となります。また所得に応じて負担上限額が定められています。

〔相談窓口：保健所保健予防課、各保健福祉センター P 28参照〕

精神障害者保健福祉手帳……一定程度の精神障害の状態にあることを認定するものです。手帳を持っている方には、所得税や住民税の障害者控除や公共料金の割引等が受けられます。手帳の対象は、認知症を含む精神障害により、長期にわたり日常生活または社会生活への制約がある方です。

ただし、その精神障害による初診日から6ヶ月以上経過していることが必要になります。

〔相談窓口：保健所保健予防課、各保健福祉センター P 28参照〕